

「大型ハコモノ」でなく、市民のいいのち 暮らし第一に!

景気効果抜群!

「住宅リフォーム助成」の創設を 全国に広がる住宅リフォーム制度

日本共産党市議団が繰り返し実施を要望している「住宅リフォーム助成制度」は、地域経済への波及効果が高く、秋田県で始まり、全国に広がっています。九州でも鹿児島市・宮崎市・長崎市・佐賀市、熊本県でも、山鹿市・天草市・上天草市・宇土市などが実施しています。

3月議会では、幸山市長が調査を約束しました。熊本市でも早期実現が期待されます。



鹿児島市では、市内業者が施工する20万円以上の工事が対象で、補助率は10～20%です。

新年度予算 3億円

宇土市では、市内業者が施工した30万円以上の工事に20%の補助率で商品券を発行(上限20万円)するものです。

新年度予算 1,000万円

市民の願いが 新年度予算に反映!

認可外保育への助成拡充

- 乳児保育・障害児保育への助成 新設園に対し、2,100万円
- 保護者への負担軽減 1,100万円

国民健康保険会計への一般会計繰入増額

政令市並に・約29億
市営住宅の畳替・風呂釜設置など修繕費が3倍に
5億9260万円
など

3月議会の主な議案に対する各会派の賛否

○…賛成、×…反対

(主な議案)	共産	自民	市民連合	未来	公明	自由ク	日本教育
2012年度 予算案 (駐輪場有料化、動植物園駐車場有料化、など)	×	○	○	○	○	○	○
介護保険料値上げ条例案	×	○	○	○	○	○	○
消費税増税に反対する意見書提出の請願	○	×	×	×	×	×	×
「国の出先機関廃止」の再検討を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○

産業文化会館は再開して、 花畑・桜町の賑わいに

花畑町再開発を理由に「産業文化会館」が閉鎖されて4年になります。しかし、一向に再開発計画はすすまず、大きな「空ビル」が中心市街地の真ん中に立っています。人通りは減り、「もったいない」「再開してほしい」という意見が相次いで寄せら

れています。市役所の翌年に建設された産業文化会館は、まだ耐用年数を残しており、一定の改修を行えば充分使えます。年間30万人の利用者があった「産業文化会館」を再開すれば、街に賑わいを取り戻すことができます。



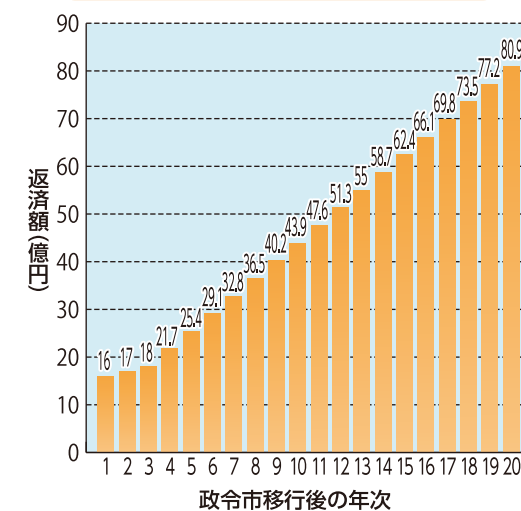
3000人の大会・学会はほとんどなし
政令市にある大会議場で開催された大会や学会の73%は、999人以下です。3000人規模の大会議場をつくっても、年に何回3000人の会議が開かれるか、見通しがありません。

政令市になって、国県道事業など、借金を重ねる事業が増えます。政令市は、構造的な借金体質です。それに加え「大型ハコモノ」建設をすすめれば、財政は悪化し、そのツケに必要な住民サービスが切捨てられます。多額の借金をつくるハコモノは中止すべきです。

交通センター再開発 3000人の国際会議場計画 100億円を超える「ハコモノ建設」は中止を

熊本市は、政令市に移行することで県から総事業費140億円の国県道管理事業を引継ぎました。しかし、仕事は増えるのに、財源が不十分のため、毎年多額の借金をしなければなりません。新年度予算では約53億円、利息まで含めると66億円の借金になります。3年据え置き、4年目から年3.7億円の返済です。しかも、毎年同程度の借金をしなければならぬので、返済額は年々増え、引継いだ過去の借金と合わせるとピーク時には年間80億円もの返済額になります。

国県道管理移譲による 毎年の借金返済額の見通し



国県道管理の借金、元利合わせ毎年66億円 合わせて引継いだ過去の借金が総額286億円

政令市移行による国県道管理の移譲で莫大な借金

駅前東A地区再開発

森ビル35階マンションに「40億円」の税金投入

熊本駅前東A地区再開発ビルの分譲マンションの建設費は約100億円です。業務を請け負っている「森ビル」は、このマンションの床を61億円で買い上げました。しかも、このマンション棟の建設には、「40億円」の税金がつかまれています。

